



今回の児童・生徒のコーナーは、南条
小の生徒の作品を紹介します。

(敬称略)

「やってやればよかったなあ」
と思った。



4年 鈴木和彦

今日は、いい日

お母さんが、
きのうたのんだ、
小学四年生の本を
買ってきてくれた。
とてもうれしかった。

夜はおねえちゃんが、
バナナジュースを
作ってくれた。
とてもおいしかった。

いつもおそい
お父さんが、
早く帰ってきた。

今日は、
いいことが
たくさんあった。

しばらくして
宿題が終わらないので
あんちゃんに
「やってくれ」
とたのんだ
あんちゃんは、
だまってつくってくれた。
あとになって、



4年 須合誠二

ぼくのおんちゃん

勉強をやっていると、

あんちゃんが

「なまクリームをつくれ。」

といった。

ぼくは、

「まっけて」

とやくそくをした。

しばらくして

宿題が終わらないので

あんちゃんに

「やってくれ」

とたのんだ

あんちゃんは、

だまってつくってくれた。

あとになって、

あじさいが

雨にうたれて

うす化しよう



6年 深田友紀

五月雨に

みどりつめたく

頭たれ



6年 飯島裕子

夏が来て

プール開きの

水しぶき



6年 中川敦子

木々のために

ひなのさえずり

たのしげり



6年 伊藤奈央子

菜の花に

みつばちとびかい

みつ集め



6年 秀島桃江

ひかり歌壇

孤独なる思いを抱き街行けば
山崎平八郎

行き交う人等皆急ぎ行く

大木静波子

落葉松の山黄緑に萌え立ちて

白樺湖畔朝日がよう

伊藤 定男

空に向き椎の新芽の広がりに

圧するばかり日毎勢ふ

越川 雪枝

植ゑし花零れし花のくさぐさに

さ庭にわかに華やぎにけり

伊藤 鏡子

凄き音立てて過ぎ行くトラックよ

路肩の草は一様に伏す

岩沢 芳江

亡き母の愛でし花なるなでしこを

作り続けて母の墓前に

土屋 好

湧き出ずる水のささやき聞えくる

山峡の畦に草刈りおれば

竹内 紀葉

水の性たたえ蕩たき花菖蒲

かおり浄めて季のうつろう